

<p>【技術の名称】 ガイアF 1 パイル工法 -先端翼を有する回転貫入鋼管ぐいー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第22-17号 性能証明発効日：2023年2月2日</p> <p>【取得者】 株式会社ソイエンス 株式会社GF1</p>
--	--

【技術の概要】

本技術は、軸鋼管に2枚の半円形の先端翼（以下、“拡翼”と称す）と掘削刃を溶接接合した鋼管ぐいであり、くい体を回転させることにより地盤に貫入し、これを用いて利用する技術である。

なお、本工法の地盤から定まる押込み方向の許容鉛直支持力については、国土交通大臣の認定：TACP-0655,0656（令和4年11月10日）、TACP-0663,0664（令和5年2月2日）および一般財団法人日本建築総合試験所の性能評価：GBRC 建評-22-231A-001,002（2022年9月20日）、GBRC 建評-22-231A-003,004（2022年12月13日）を取得しており、この性能証明は、本技術により設計・施工されたいの地盤から定まる引抜き方向の支持力の評価に関するものである。

【技術開発の趣旨】

本技術は、軸鋼管に2枚の半円形の拡翼を水平面に対して15°傾けて取り付けることで、施工性を向上させたくい工法である。また、拡翼を取り付けることで、引抜き抵抗力の増大を図っている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、単ぐいとしての引抜き方向の支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「ガイアF 1 パイル工法 設計指針」および「ガイアF 1 パイル工法 施工指針」に従って設計・施工された先端翼付き鋼管ぐいの短期荷重に対する引抜き方向の支持力を定める際に必要な地盤から定まる極限引抜き抵抗力は、同設計指針に定める標準貫入試験の結果に基づく支持力算定式で適切に評価できる。

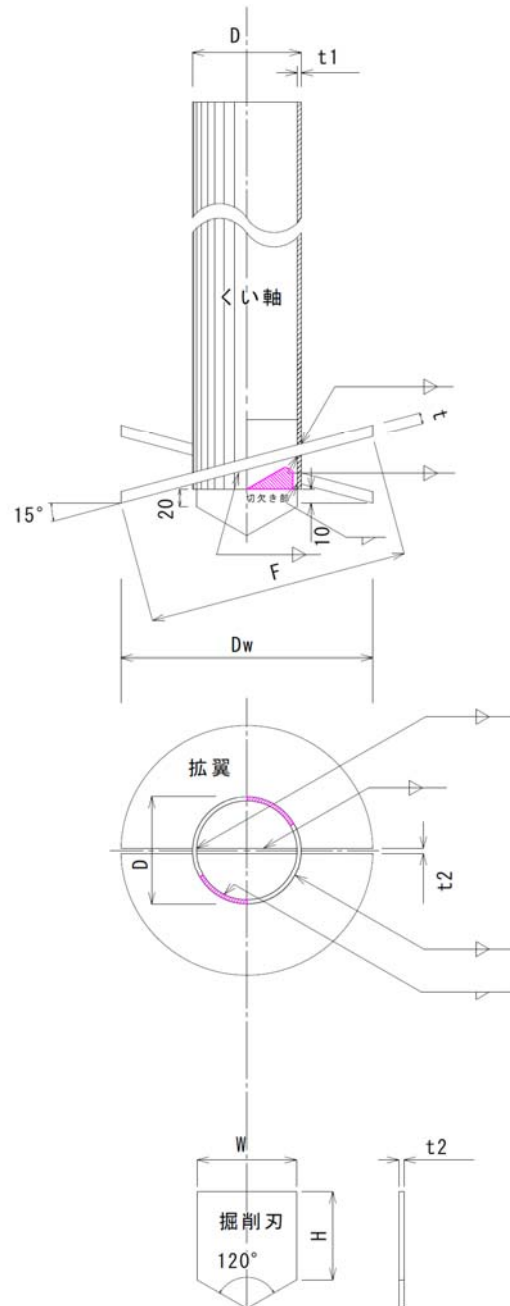


図1 くいの形状

【本技術の問合せ先】

株式会社ソイエンス 担当者：山下 功治
 〒459-0816 愛知県名古屋市緑区南大高1丁目2207番地
 株式会社GF1 担当者：小島 嘉樹
 〒455-0855 愛知県名古屋市港区藤前4丁目913番地

E-mail：info@soience.co.jp
 TEL：052-621-1791 FAX：052-621-1792
 E-mail：gf1.gyomu@gmail.com
 TEL：052-304-1191 FAX：052-304-1195